

You, Unlimited



RYUKOKU  
UNIVERSITY

龍谷大学

経済学部



2027

Faculty of

Economics



# Diverse Approaches to Economics

# 変わる世界に、変われる学びを

2027年、新生・経済学科<sup>※</sup>始動

— 1学科 × ユニット制 × 実践型学修 —

AIが仕事を換え、国境を越えて経済が動く不確実な時代。

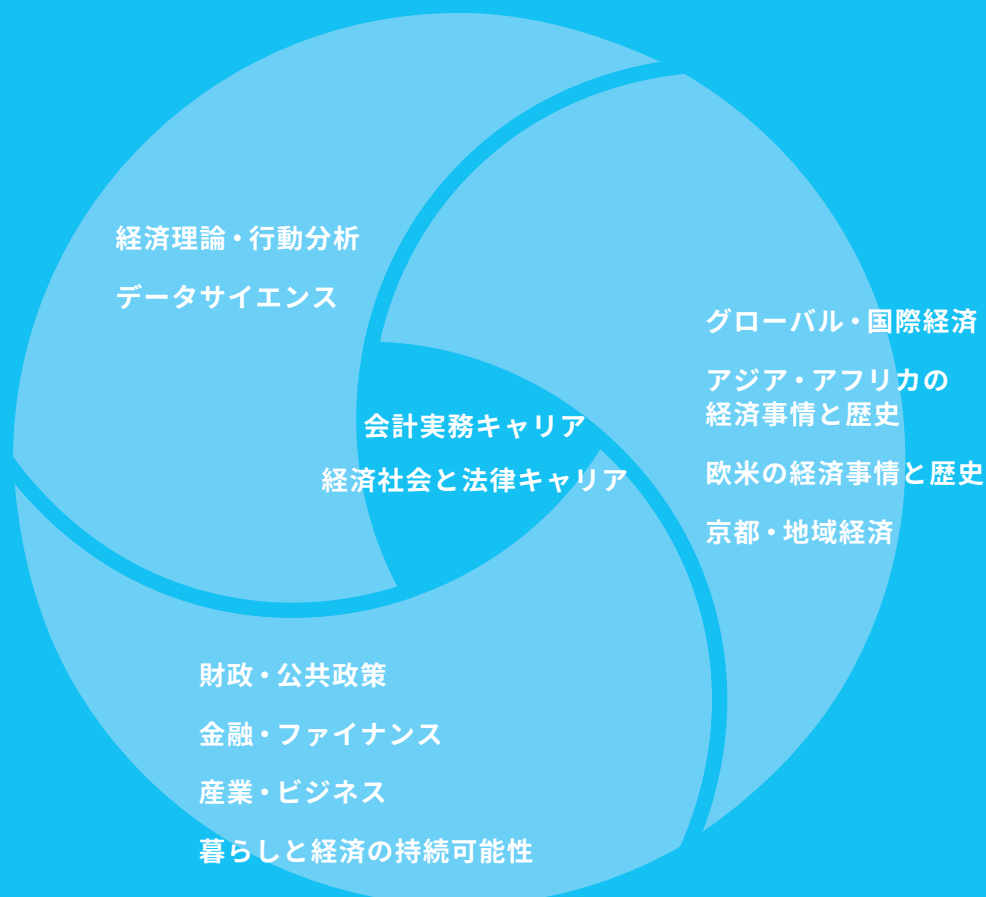
正解を覚える学びだけでは、未来は切り拓けません。

2027年4月、本学経済学部は現行の「現代経済学科」「国際経済学科」から、一つの経済学科へ。

学科の枠をなくし、テーマで学び、社会とつながる。

それが、新しい経済学科の学びです。

12のユニットを組み合わせ  
あなたの未来をデザインしよう



※ 2027年4月、「現代経済学科」より名称変更。



主体的な学びを支える「ユニット制」

## 学び方は、自由自在。組み合わせは、無限

今、将来の夢が決まっていなくても、大丈夫。新しい経済学科では、学生一人ひとりの関心や将来像に応じて学びを設計できるユニット制を導入します。学びながら自分の関心とキャリアを見つけていけることが、この学びの大きな特長です。基礎から応用へ力を積み上げながら、一つの分野をとことん追究するもよし、興味に合わせてさまざまな分野を横断的に学ぶもよし。選ぶ学びが、あなたの強みになります。2027年、新たな学びが始まります。

経済理論・  
行動分析  
ユニット

データ  
サイエンス  
ユニット

グローバル・  
国際経済  
ユニット

アジア・アフリカ  
の経済事情と歴史  
ユニット

欧米の経済  
事情と歴史  
ユニット

京都・  
地域経済  
ユニット

財政・  
公共政策  
ユニット

金融・  
ファイナンス  
ユニット

産業・  
ビジネス  
ユニット

暮らしと経済  
の持続可能性  
ユニット



キャリアスキル科目群

会計実務  
キャリア  
ユニット

経済社会と法律  
キャリア  
ユニット

# 4-Year Studies

4年間で何を学ぶ？

「ユニット制」では、経済学部での学びのテーマを10分野に分類し、関連科目を体系的に配置。興味のある領域へ自由に踏み出しやすくなりました。大学での学びや経済学の基礎を身につけた2年次以降は、各分野の基礎から応用、データ分析、国際問題、ビジネススキルまで、専門的な学びが展開されます。さらに、社会で即戦力となる知識とスキルを磨けるキャリアスキルユニットを新設。経済学だけでなく、会計・経営や法学といった隣接分野の学びを充実させることで、公務員などを希望する学生のキャリア実現を支援します。地元京都の企業と連携した実践型講義やフィールドワークもさらに拡充。理論を現実社会で確かめ、課題解決に挑む学びをおこないます。将来の進路を見据えながら、体系履修はもちろん、複数ユニットを横断した学びも思いのまま。自分だけのオリジナルな履修モデルを描くことができます。未来を切り拓き、変わる世界に挑む力を、この新しい経済学科で育みます。

1年次		2年次		3・4年次			
1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester
教養教育科目（「仏教の思想」科目・外国語科目・教養科目）							
入門演習	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ + 卒業研究				
学部共通コース（国際関係・英語コミュニケーション・スポーツサイエンス・環境サイエンス）							
基礎科目群				基幹科目群			
ミクロ経済学入門Ⅰ マクロ経済学入門Ⅰ 現代と経済 統計学Ⅰ 経済数学A 日本経済論A 統計学入門		ミクロ経済学入門Ⅱ マクロ経済学入門Ⅱ 経済社会論入門 統計学Ⅱ 経済数学B 日本経済論B 経済史入門		<b>経済理論・行動分析ユニット</b> マクロ経済学A/B ミクロ経済学A/B ゲーム理論A/B 経済政策論A/B 不確実性と情報の経済学 行動経済学 経済成長と循環 など			
				<b>データサイエンスユニット</b> 統計学Ⅱ 計量経済学A/B 応用計量経済学A/B データサイエンス入門A/B データサイエンス 情報システム論 など			
				<b>グローバル・国際経済ユニット</b> 国際経済学A/B 国際政治経済学A/B 比較経済論A/B グローバル経済学A/B 国際金融論A/B 国際貿易政策 国際ビジネス論 など			
				<b>アジア・アフリカの経済事情と歴史ユニット</b> 国際協力論A/B 開発経済学A/B アジア経済論A/B 中国経済論A/B アジア経済史A/B アフリカ経済論 など			
				<b>欧米の経済事情と歴史ユニット</b> 経済史 グローバル経済史A/B 経済学史A/B アメリカ経済論A/B ヨーロッパ経済論A/B ヨーロッパ経済史A/B 経済思想史 など			
				<b>京都・地域経済ユニット</b> 中小企業論 地域経済論A/B 地域産業活性化プロジェクトⅠ/Ⅱ/Ⅲ 観光経済論 都市経済学 京都伝統産業とグローバル化 など			
				<b>財政・公共政策ユニット</b> 財政学A/B 公共経済学A/B 総合政策論A/B 社会政策A/B 地方財政論A/B 地方自治論 租税論 医療経済学 など			
				<b>金融・ファイナンスユニット</b> 金融論A/B ファイナンス理論A/B ファイナンシャルプランニング入門Ⅰ/Ⅱ 企業金融論A/B 証券市場とグローバル証券ビジネス など			
				<b>産業・ビジネスユニット</b> 中小企業論 産業組織論A/B 地域産業論A/B サービス経済論A/B 日本経済史A/B マーケティング論 経営学総論 商学総論 など			
				<b>暮らしと経済の持続可能性ユニット</b> 社会経済学A/B 労働経済学A/B 環境経済学A/B 食・農・資源の経済論A/B 生活福祉論A/B ホスピタリティ・ビジネス論 NPO論 など			
キャリアスキル科目群							
経済学の技法Ⅰ 海外フィールド実習/研修 金融リテラシーなど		経済学の技法Ⅱ 経済英語Ⅰ キャリア形成論Ⅰなど		留学英語Ⅰ～Ⅳ など <b>会計実務キャリアユニット</b> 簿記論Ⅰ/Ⅱ 財務会計入門 中級商業簿記 上級商業簿記 工業簿記 財務会計論 原価計算論 など <b>経済社会と法律キャリアユニット</b> 政治学原理 民法 経済法 行政法 憲法 労働法 商法 など			

※ユニットおよび授業の名称・内容は、変更となる場合があります。

# Course Model

興味・関心にあわせた学修モデル

## 学びの組み合わせが、あなたの武器になる

※本モデルは学修計画の一例です。履修科目を検討される際の参考としてご覧ください。なお、科目名称や開講期は現時点での予定であり、変更となる場合があります。詳細は、各年度のシラバス等でご確認ください。

### Model-1 世の中の仕組みを、理論とデータで理解したい

**[学ぶ内容]** 経済の仕組みや消費者と企業の行動を理解する理論を学びます。また、データ分析を用いて、目に見えない関係性も明らかにすることをめざします。  
**[ユニット]** 経済理論・行動分析/データサイエンス

1年次		2年次		3年次		4年次	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
●ミクロ経済学入門Ⅰ ●マクロ経済学入門Ⅰ ●統計学Ⅰ	●ミクロ経済学入門Ⅱ ●マクロ経済学入門Ⅱ ●統計学Ⅱ	●経済政策論A ●ゲーム理論A ●計量経済学A	●経済政策論B ●計量経済学B ●応用計量経済学A	●行動経済学 ●不確実性と情報の経済学 ●データサイエンス	●産業組織論A ●経済成長と循環 ●経済統計学B	●産業組織論B ●情報システム論	●データ分析と問題解決

### Model-2 グローバルな経済事象や出来事を、しっかり説明できるようになりたい

**[学ぶ内容]** 日本を含むグローバルな経済事象や出来事に対する理解度を、具体的な事例分析や歴史的な考察を通じてアップデートします。  
**[ユニット]** グローバル・国際経済/欧米の経済事情と歴史

1年次		2年次		3年次		4年次	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
●日本経済論A ●現代と経済 ●マクロ経済学入門Ⅰ	●経済社会論入門 ●経済史入門 ●マクロ経済学入門Ⅱ	●国際政治経済学A ●経済史 ●経済学史A	●国際ビジネス論 ●グローバル経済学A ●ヨーロッパ経済論A	●国際経済学A ●経済地理学A ●経済思想史	●国際経済学B ●グローバル経済学B ●ヨーロッパ経済論B	●国際金融論 ●ヨーロッパ経済学A	●経済地理学B ●ヨーロッパ経済学B

### Model-3 地元や身近な社会問題を現実的に考えたい

**[学ぶ内容]** 身近な暮らしや地域社会の課題を、産業構造と経済データからとらえ、未来を考える力を身につけます。  
**[ユニット]** 暮らしと経済の持続可能性/産業・ビジネス/財政・公共政策

1年次		2年次		3年次		4年次	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
●日本経済論A ●現代と経済 ●統計学入門	●日本経済論B ●経済社会論入門 ●キャリア形成論Ⅰ	●労働経済学A ●社会経済学A ●地域経済論A	●労働経済学B ●食・農・資源の経済学A ●地域経済論B	●観光経済論 ●環境経済学A ●中小企業論	●都市経済学 ●環境経済学B ●医療経済学	●ホスピタリティ・ビジネス論 ●NPO論 ●経済地理学A	●マーケティング論 ●産業組織論A

### Model-4 経済学の考え方を活かして、住民から信頼される公務員をめざしたい

**[学ぶ内容]** インセンティブで人の動きをとらえ、財政・法律の専門知識を武器に、より良い社会の仕組みを実現できる公務員をめざします。  
**[ユニット]** 財政・公共政策/経済理論・行動分析/暮らしと経済の持続可能性/経済社会と法律

1年次		2年次		3年次		4年次	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
●ミクロ経済学入門Ⅰ ●マクロ経済学入門Ⅰ ●現代と経済	●ミクロ経済学入門Ⅱ ●マクロ経済学入門Ⅱ ●統計学	●財政学A ●労働経済学A ●経済政策論A	●財政学B ●公共経済学A ●ゲーム理論A	●地方財政論A ●公共経済学B ●租税論	●地方財政論B ●地方自治論 ●憲法	●総合政策論A ●証券市場と行政法	●総合政策論B ●社会政策B

### Model-5 グローバルな動きを知り地域の活力を創り出す、次世代の金融人をめざしたい

**[学ぶ内容]** 経済学や会計の専門知識をもとに、グローバルな視点で未来を描き、金融を通じて地元の経済をサポートできる力を身につけます。  
**[ユニット]** 金融・ファイナンス/グローバル・国際経済/京都・地域経済/会計実務

1年次		2年次		3年次		4年次	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
●ミクロ経済学入門Ⅰ ●マクロ経済学入門Ⅰ ●現代と経済	●ミクロ経済学入門Ⅱ ●マクロ経済学入門Ⅱ ●日本経済論	●金融論A ●国際経済学A ●ファイナンス理論A	●金融論B ●国際経済学B ●ファイナンス理論B	●企業金融論A ●地域経済論A ●簿記論Ⅰ	●企業金融論B ●中小企業論 ●簿記論Ⅱ	●国際金融論A ●証券市場とグローバル証券ビジネス	●国際金融論B ●財務会計論

## Model-6

# 京都の企業や地域に入り込み、リアルな経済を学びたい

**[学ぶ内容]** 京都から世界へと展開する企業家たちを密着取材し、新たな価値を創造する思考力と行動力を身につけます。

**[ユニット]** 京都・地域経済／産業・ビジネス／データサイエンス

1年次		2年次		3年次		4年次	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 知の技法</li> <li>● フィールドワークの技法</li> <li>● ミクロ経済学入門I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本経済論B</li> <li>● 統計学I</li> <li>● ミクロ経済学入門II</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域産業活性化PJI</li> <li>● 地域経済論A</li> <li>● ゲーム理論A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域産業活性化PJII・III</li> <li>● 地域経済論B</li> <li>● 京都企業イノベーション論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データサイエンス</li> <li>● 地域産業論A</li> <li>● 観光経済論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マーケティング論</li> <li>● 地域産業論B</li> <li>● 都市経済学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホスピタリティ・ビジネス論</li> <li>● ファイナンス理論A</li> <li>● NPO論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイナンス理論B</li> </ul>

## 地域産業活性化プロジェクト

京都の老舗企業×「龍谷大学」のコラボ授業を実施

# 100年以上の歴史がある「老舗」の魅力や課題について、徹底的に学び成果を書籍化

経済学部では、受講生が主体的に考え行動する実践型の授業に力を入れています。京都府および「京都老舗の会」の協力を得て実施している科目「地域産業活性化プロジェクト」は、文献研究、講義、フィールドワーク（現場調査）などを通じて、100年以上続く「老舗」の本質を理解するとともに、その課題を発見し、具体的な対応策を提示することを目的としています。これまでに、月桂冠をはじめとする60社以上の企業のみなさまにご協力いただき、2023

年度はノーベル文学賞作家・川端康成にも愛された老舗旅館「柊家」との連携授業を実施。2024年度は、江戸時代から続く創業約300年の菓子司「鍵善良房」と協働し、現地訪問や関係者へのインタビューを重ねながら、京都が誇る老舗の魅力と持続の秘密、そして変化への新たな対応を分析しました。こうした活動成果は書籍として刊行予定であり、学生の学びが社会へと発信されています。



取材の様子



企業視察



地域産業活性化PJで出版した書籍

## Model-7

# 世界の現場に足を運び、国際課題を体感しながら学びたい

**[学ぶ内容]** フィールドワークを通じて、国際社会の課題を理解・実践し、経済学のツールを用いて課題解決の方法を考えます。

**[ユニット]** グローバル・国際経済／アジア・アフリカの経済事情と歴史

1年次		2年次		3年次		4年次	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 知の技法</li> <li>● フィールドワークの技法</li> <li>● 海外フィールド研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経済英語I</li> <li>● 社会調査の技法</li> <li>● 統計学I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際経済学A</li> <li>● 留学英語I</li> <li>● 海外フィールド実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 開発経済学B</li> <li>● アフリカ経済論</li> <li>● 国際NGO論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交換留学</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際協力論A</li> <li>● 国際ビジネス論</li> <li>● アジア経済論A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際協力論B</li> <li>● アジア経済論B</li> <li>● 中国経済論B</li> </ul>

## 海外でも学びを展開

# 1年生からでもグアムで“生きた経済”を学ぶ 海外フィールド研修

グアム大学を拠点に、英語と島の経済・歴史・自然を学ぶことができる、経済学部独自の短期海外研修制度です（全学年対象）。楽しみながら英語を身につけるだけでなく、島の観光業の現場で“生きた経済”を学び、フィールドワークをおして島の歴史や自然に親しみます。カリキュラムに参加してくれるグアム大学の学生とも、多くの場面で交流を深めることができます。この経験が本学独自のRISE Programや交換留学など、より発展的な留学への第一歩となります。



# 座学と現地実習の両面から途上国を学ぶ 海外フィールド実習

「海外フィールド実習」は、夏休みに行う途上国でのフィールドワークと講義形式の事後学習を組み合わせ、途上国の現状や課題に対する理解を深める授業です。学生は各種スタディーツアーやボランティア研修などから関心にあわせて渡航先を探し、現地で多くのことを学び、感じる体験をします。その後、レポート作成やプレゼンテーション、各学生の世界各地での経験をもとにディスカッションを行い、途上国が抱える課題に対して更なる理解を深めます。



# Project #1

行動経済学

▼ 解決をめざす「社会課題」

## 意思決定の難しさと非合理的な選択

内田 萌々華さん

3年生  
(兵庫県立宝塚西高等学校 出身)



兵庫 一也教授

【専門分野】意思決定理論、  
数理経済学、  
ミクロ経済学



## 経済モデルで複雑な社会に迫り 非合理的な選択のメカニズムを解明する

「選択の過負荷」に悩む現代人  
心理的傾向を探り、より良い行動へ導く(内田さん)

現代社会は情報があふれ、多くの人が「選択の過負荷」による意思決定の困難に直面しています。特にSNS上の情報過多や金融リテラシーの不足、健康行動の改善といった課題に対し、従来の経済理論だけでは解決できない側面が浮き彫りになっています。この科目では、「人はなぜ非合理的な選択をするのか」という問いを軸とし、経済学に心理学の視点を取り入れた「行動経済学」を探究します。特長は、理論の学修にとどまらず、実社会への応用を徹底して考える点です。例えば、人の心理的傾向を利用してより良い選択を促すナッジや、誘惑に負けないための仕組みづくりなど、具体的な解決策を検討します。「人は合理的ではない」という前提に立つことで、他者理解が深まりました。複雑な経済問題を「人間らしさ」から解き明かす学びは、自らの選択や、政策・サービス設計にも活きる一生モノの財産です。

既存の理論を「拡張」する技術を修得  
複雑な社会をひも解く「科学の営み」を学ぶ(兵庫教授)

現代社会はさまざまな事象が複雑に入り組んでいて、何が真の問題なのかを見極めることさえ容易ではありません。この科目では、まず基本的な経済学を学び、次にプロスペクト理論などの視点から、なぜ社会に非合理的な選択があふれているのかを追究していきます。重要なのは、複雑な現実を「経済モデル」で単純化し、問題を明確にする技術です。もし理論が現実と乖離していても、安易に過去の理論を捨てるのではなく、何が足りないのかを観察し、既存の枠組みを拡張してより精緻な理論を組み立てる。この「科学の営み」こそが、実社会でも通用する真の課題解決力を養います。学生たちには、理論の長所と短所を冷静に整理する力を身につけ、既存の知見を大切にしながらも、自らの手でより良い仕組みを構築できるよう成長してほしいと願っています。





## 産業集積地の工場数減少による 後継者不足と住工混在問題に迫る（新垣さん）

この科目では、日本経済を根底から支える中小企業の役割を「政策」「構造」「経営」という3つの観点から学びます。そこから見えてくるのは、中小企業が抱えるリアルな問題です。私は産業集積地の工場数減少が引き起こす、後継者不足と住工混在問題に着目しました。住宅と工場が混在することで生じる摩擦を解消するには、工場側の高い技術による環境改善が必要です。しかし、中小企業が置かれている状況を考えると、工場側の努力だけでは難しいのも事実です。その鍵を握るのが、行政支援ではないでしょうか。例えば、企業を後押しする条例や制度の施行によって解決できるのではと考えています。この科目を通じて、地域経済の発展に中小企業が果たすべき役割や直面する問題について、自分なりの意見をもてるようになりました。今後も社会課題から目を逸らさず、解決策を模索していきたいと思っています。

## 政策と仕組みで中小企業の活路を見出し 少子高齢化と地域格差の壁に挑む（藤川准教授）

日本社会は今、加速度的に進む少子高齢化と地域間格差の拡大、そして地域経済を支えてきた中小・零細企業の著しい減少という深刻な局面にあります。これらが引き起こす地域経済の疲弊は、日本の未来に関わる重大な問題です。この科目では、企業を産業別に把握し、多様な産業がどのように絡み合い、地域経済を循環させているのかを構造的に分析します。重要なのは、単なる現状把握にとどまらず、中小・零細企業が安定して誕生し、成長できる「フィールド」や「仕組み」をどう構築していくかという視点です。地域を支える中小企業に関する正しい理解は、実効性のある地域産業政策の立案や評価へとつながります。多種多様な産業が地域社会に果たす役割を学ぶことで、地域社会が抱える課題に対して能動的に関与し、解決策を提示できる「地域経済の変革者」へ成長していくことを期待しています。



## Project #2

### 地域産業論

解決をめざす「社会課題」▼

## 少子高齢化と地域格差、中小企業の減少



新垣 友貴さん

3年生  
(大阪府立旭高等学校 出身)



藤川 健准教授

[専門分野] 中小企業論、  
中小企業経営論、  
地域産業論

# 日本経済における中小企業の役割を学び 持続可能な地域産業の仕組みを考察する

▼ 解決をめざす「社会課題」

### 自治体の財源不足と公共サービスの維持

世古 夏帆さん

3年生  
(三重県立伊勢高等学校 出身)



加藤 秀弥教授

[専門分野] 財政・地方財政



## 地域社会を支える財政の仕組みを分析し 地方自治の豊かな未来をデザインする

### 社会課題を「自分ごと」としてとらえ 財政の視点から社会のあり方を考察する(世古さん)

応用政策プログラムでは、地方財政の仕組みと、国と地方自治体の財政関係を学び、持続可能な財政運営のあり方を考察します。かつての私は、人口減少や地域の財政といった問題は、自分とは遠い世界の話だと思っていました。しかし人口減少や財政問題など複雑な課題を具体例として学んでいくなかで、これらの課題が私たちの生活に密接につながっていることに気づかされました。資料を読み解きながら「なぜこうなっているのか」「このままでどうなるのか」と自問自答する習慣が身につく、物事を一歩深く考える力が伸びたと実感しています。社会の仕組みを詳しく知ることは、自分の視野を広げ、将来どのように社会と関わっていきたいかを考えるきっかけにもなりました。単に知識を「知る」だけでなく、社会の問題を「自分ごと」としてとらえ、解決への道筋を論理的に考える姿勢を養えたことが、一番大きな成長です。

### 公共心と経済理論で持続可能な社会へ 人口減少時代の地方自治を守る(加藤教授)

人口減少が加速する日本社会において、過疎化が進んでいる地方自治体は深刻な財源不足に直面するとともに、公共サービスの維持という重大な課題を抱えています。上下水道や消防、警察、教育など、私たちの生活基盤である公共サービスが立ちゆかなくなれば、地域経済の活力は失われ、自治体の存続も危ぶまれます。この科目では、国と地方の役割分担や地方分権に関する経済理論を学び、地方財政のあるべき姿を探究します。具体的に、財政構造改革や地域間連携による財源基盤の強化、コンパクトシティ化による公共施設の集約や公共サービスの効率化など、持続可能な自治体運営の手法を考察します。地方自治体を含めた日本のありかたを考え、地域の財源やサービスの仕組みを理解することで、利己的な視点ではなく、より広い視野である「公共心」をもって地域課題に向き合える人材に育ってくれることを期待しています。



## 労働環境や文化にも焦点を当て 企業の海外展開を多角的に考察する(安部さん)

企業の海外進出が加速する現代、多国籍企業の影響力は経済活動にとどまらず、現地の労働環境や人材育成、文化摩擦など、社会全体に及んでいます。この科目では、多国籍企業や海外直接投資(FDI)の実態と理論を理解し、企業が国境を越えるメカニズムを分析します。特長は、講義にとどまらない実践的な学びです。ビデオ視聴やグループワークを通じて議論を深め、本社と海外子会社の価値観の隔たりなど、正解のない課題に対して論理的な解決策を探っていきます。他者の意見を尊重しながら解決策を検討することで、企業活動を利益だけでなく、環境や文化の違い、技術競争といった社会への影響を含む多角的な視点でとらえる姿勢が身につきました。チームで複雑な国際経営の課題に挑む協働力は、将来どのような舞台でも、持続可能な社会の構築に貢献できる力になると実感しています。

## 国境を越える企業の行動原理を読み解き 世界経済における真の役割と責任を問う(畠山准教授)

巨大な多国籍企業の売上高は一国の経済規模に匹敵することもあり、その活動は世界の産業発展や雇用に甚大な影響を与えます。一方で、不適切な経営や不正な納税、理不尽な雇用は、世界経済に多大な損失をもたらしかねません。この科目では、新興国への進出や海外工場の設立といった海外直接投資の理論や、生産・研究開発などの機能がなぜ国際化するのかという論理を体系的に学びます。ゴールは、企業行動の分析を通じて、その社会的責任を問う視点を養うことです。企業は自社の利益だけを追求するのではなく、自社が社会に与える影響の大きさを自覚し、社会の一員としてステークホルダーと良好な関係を維持する必要があります。多国籍企業が及ぼす正と負の影響を客観的にとらえ、国際社会で果たすべき役割を自ら考えられる、真のグローバル人材の育成をめざします。

## Project #4 国際ビジネス論

▼解決をめざす「社会課題」

### 多国籍企業の社会的責任



安部 恵梨佳さん  
2年生  
(京都府立朱雀高等学校 出身)



畠山 俊宏准教授  
[専門分野] 国際経営論



# 巨大化する企業の論理と実態を解明し 持続可能な世界経済を構想する



# Project #5

海外フィールド研修

解決をめざす「社会課題」▼

## グアムが抱える複合的課題

大畑 拓摩さん

1年生  
(大阪府 大商学園高等学校 出身)

工藤 和也 准教授

[専門分野] 語彙意味論、  
統語論、形態論

セナ モレノレイサ  
クリスティナ 講師

[専門分野] 国際経済政策

## リゾートの裏側に 潜む問題を探り 具体的な解決策を導き出す

現地の対話から得た「生きた情報」  
実体験をもとに経済のリアルを読み解く(大畑さん)

グアム研修では、現地調査をとおして観光リゾートの裏側にある社会的・経済的課題を探究しました。日本で見られるグアム関連資料は量が少なく内容も古いので、グアム大学や政府機関、地元住民への聞き取りを行い、最新の情報を収集することに徹しました。調査を通じて、トランプ関税が地域経済に与える影響やオーバーツーリズムの問題など、現場でしか得られない、リアルな課題が見えてきました。立場の違う人々の意見を比較する過程で、一つの経済問題にも多様な利害関係が存在すると知り、経済事象をより立体的に分析する姿勢が身についたと感じています。また、英語によるコミュニケーションを通じて、主体的な対話力を養えたことも大きな収穫でした。国際的な場面でも通用する経済の基礎力は、日本の地方が抱える社会課題を考える際にも応用できると確信しています。

グアムでの原体験と多角的な分析により  
観光地の裏側にある複合的な課題に迫る(工藤准教授)

多くの日本人にとってグアムは「観光リゾート」ですが、その背景には観光業や米軍基地への経済的依存、過度な開発による環境負荷、人材流出など、現代社会の縮図ともいえる複合的な課題が潜んでいます。この研修では、リゾートの裏側にあるリアルな実情を解き明かすべく、事前学習・現地研修・事後学習の3段階による体系的な学びを展開します。現地では英語を用いた実践的なコミュニケーションを軸に、政府機関や博物館への視察、現地学生との交流を行い、机上の学修だけでは見えないリアルな課題を肌で感じ取ります。重要なのは、単なる観察にとどまらず、得られた知見を日本や他国の事例と比較しながら多角的に分析し、具体的な解決策を導き出すことです。実体験を通じて、経済・社会の構造を深く理解し、自ら考え行動する主体性、グローバルな視点で複雑な課題解決に挑む実践力を養います。



# Hot Topics

## 経済学部取り組み

### 参加型の新入生サポート

## 1 初年次から「学びの力」を育てる— 少人数制で基礎力をしっかりと

龍谷大学経済学部では、入学直後から少人数制の演習科目を通じて、大学での学びに必要な「聴く・読む・調べる・書く・伝える」の5つの力を徹底的に育成します。1年次には「入門演習」「基礎演習Ⅰ」を通じて、学修ガイドや文章課題を活用しながら、学びの土台を築いていきます。これらの演習では、キャリア教育も並行して行われ、将来の進路を見据えた学びの姿勢を身につけることができます。2年次以降の専門演習へとつながる、経済学部ならではの体系的な学びのスタートです。



## 2 先輩が支える安心の学び— ピア・サポーター制度

1年生にとって、大学生活は初めてのことばかり。そんな不安を少しでも和らげるために、経済学部では「ピア・サポーター制度」を導入しています。これは上級生が授業内で1年生をサポートする制度で、教員と学生の間に立って、学びの橋渡しをしてくれる心強い存在です。授業は、教員、ピア・サポーター、1年生の三者で協力しながらすすめられ、アクティブ・ラーニングが自然と深まっていきます。先輩からのアドバイスやサポートを通じて、1年生は安心して学びに取り組むことができ、大学生活への自信を育てていきます。



### 経済学部フェスタ

## 3 経済学部の「知の循環」を学生と共に創る 経済学部フェスタ

2024年から龍谷大学経済学部の独自イベント「経済学部フェスタ」を開催しています。ゼミ活動やPBL授業などを通じて、「自分たちが何を行い、何を学んだのか」を発表し、経済学部の特徴的な学びの成果を一同に披露する機会となっています。教員が審査員となって採点をする「研究発表会」では、各チームが念入りに準備をしたうえで発表を行い、審査員である教員からの質問にも、堂々とした受け答えをする様子が見

経済学部フェスタの動画は  
こちらをCHECK!



られます。学びの成果を発表する先輩学生の姿は、1年生にとっては自分の近い未来の姿を重ねることができ、これからの経済学部での学びに対する期待が高まります。「経済学部フェスタ」の企画・運営には、経済学部生が実行委員として参画し、さまざまなアイデアを出しながら教員と共に創りあげています。今後も、学年や所属ゼミを越えた知的な交流を図る場として開催し、経済学部の「知の循環」をめざします。



	12,344*** (1,543)	11,702*** (1,644)	12,343*** (1,407)
常自校導入政策の ダミー変数	-2,096 (1,543)	1,091 (1,644)	1,920 (1,407)
対象都市と常自校導入 政策のダミー変数	0.488 (2.182)	3.986* (2.325)	3.617* (1.989)
観測数	24	48	60
自由度調整決定係数	0.853	0.756	0.784

有意水準5%で統計的に有意ではあるため、宿泊税には観光客数に影響を与えない

### 子ども医療費助成制度

「京都市子ども医療費助成条例」として子ども医療費助成制度が制定

027年(2015年)9月 | 平成31年(2019年)9月 | 令和元年(2019年)9月

京都市から中学校卒業まで | 変更なし | 変更なし

小児科まで、月300円 | 小児科まで、月300円 | 小児科まで、月300円

小児科まで、月300円 | 小児科まで、月300円 | 小児科まで、月300円

# Seminars

## ゼミ紹介

### 渡邊 正英 ゼミ

#### 統計分析による社会課題の解決

#### 若者の投票率は教育で上がるのか？ データ分析を駆使し、政策を提言する

若者の投票率低下や地方の若年層人口流出といった現代社会の課題に対し、プログラミング言語「R」を用いたパネルデータ分析で解決策を探っています。私たちのグループは、若者の意見が反映される政治に焦点を定め、主権者教育の効果を検証しました。メンバーと密に連携し、データの収集や校正に苦心しながらすすめた研究は、WEST論文研究発表会で分科会賞を受賞することができました。学内外の報告会に向け、徹底した準備を繰り返すなかで、以前は苦手だった人前での発表も自信をもって話せるようになりました。また、統計学的な考え方や執筆力も鍛えられたと実感しています。現在は地方経済への貢献を視野に、プロスポーツの経済効果について卒業論文をすすめています。真摯に研究と向き合い、「努力すれば必ず成長できる」という確信を得たゼミでの経験は、どんな道に進んでも必ず役立つ大きな財産です。



野波 俊輔さん

4年生  
(高知県立高知西高等学校\*出身)  
※現:高知県立高知国際高等学校



### 津川 修一 ゼミ

#### 医療・環境・都市交通の財政政策

#### 医療や環境など身近な財政課題を ミクロ経済学とデータで可視化

津川ゼミでは、医療や環境、都市交通など、市場のメカニズムだけでは解決が難しい経済問題に着目し、ミクロ経済学やゲーム理論、統計学を駆使して財政政策のあり方を研究しています。理論と緻密なデータ分析を重視する方針に惹かれて、このゼミを選びました。PCを用いた分析や教科書の輪読をとおして、アウトプットを意識した学びの重要性を実感しています。当初は専門知識に不安を感じていましたが、個々の理解度に寄り添ってくださる先生の丁寧なサポートのおかげで、研究に対する解像度が格段に上がりました。日常のニュースを理論的にとらえ、社会問題の背景を深く考察する視点も養われています。卒業論文では、エッセンシャルワーカーの労働環境や賃金問題を取り上げます。公共経済学の視点を活かし、理論やデータ分析にもとづく健全な財政政策のあり方を多角的に検討したいと考えています。



松本 紗友希さん

3年生  
(京都府立久御山高等学校出身)



#### 【主な卒業論文テーマ】※2025年度卒業論文より抽出

- 外国人労働者の受け入れによる経済の影響や日本の将来について
- ベトナム・ホーチミンにおける大学生と日本の大学生のキャリア環境意識の比較
- 医療の地域偏在がもたらす死亡率への影響
- 観光と地域経済の持続可能性—京都とマンチェスターの比較
- 一都道府県と2次医療圏における実証分析—
- アニメ聖地巡礼が地域経済に与える影響と可能性
- どうして、スマート農業は普及しないのか？



## 上山 美香 ゼミ

### 途上国における開発経済

#### コーヒーや古着から探る途上国の現状 開発経済のリアルを学ぶ

高校時代の高大連携授業や上山先生の著書に感銘を受け、上山ゼミに入るために経済学部の受験を決めました。ゼミではコーヒーや古着といった身近な製品を入口に、途上国が抱える課題をSDGsやフェアトレードの観点から学んでいます。2024年度は「コーヒーと途上国」をテーマに、ルワンダやメキシコの事例を研究し、京都市内でフィールドワークを実施しました。地域の方々の声に真摯に耳を傾け、意見交換するなかで、理論だけでは見えない開発経済のリアルを深く痛感しました。2025年度は「ファッション業界における途上国の問題」に着目し、古着がたどるルートやファッション産業と環境問題、トランプ関税が衣料品のサプライチェーンへ与える影響を多角的に考察しました。他大学も含めた討論会や先生や仲間たちとの議論によって、一つの事象に深く切り込み、多面的にとらえる力が身についたと実感しています。



梅岡 咲帆さん

3年生  
(京都府 龍谷大学付属平安高等学校 出身)



## 大久保 翔平 ゼミ

### グローバル社会における諸問題

#### 経済の相互依存は平和をもたらすか？ 現地調査で理論と現実の差を痛感

グローバル社会における貧困や紛争、経済格差や資源争奪といった諸問題をテーマに、グローバル経済の歴史的構造を研究しています。経済の相互依存が平和を保障するという単純な見方に疑問をもち、歴史的背景を踏まえた持続可能な解決策を探りたいと考えました。特に印象深いのは、インドネシアでの海外フィールド研修です。現地の経済格差や多民族社会の実態を自らの目で確かめたことで、理論だけでは計り知れない現実の重みを痛感しました。研修の代表として現地機関との調整を率先して行うなかで、異なる価値観をもつ人々と協働しながら課題を探究する難しさや意義を実感しました。現在はこれらの学びを発展させ、国家間の経済的な相互依存が国際紛争に及ぼす影響について卒業研究をすすめています。自分の問いを大切にし、理論的な考察と現実の課題の双方から、持続可能な平和のあり方を追究し続けたいと考えています。



石宮 伊織さん

3年生  
(福井県 北陸学園北陸高等学校 出身)



- 伝統産業の衰退を防ぐ広報と教育の役割  
一丹後ちりめんの後継者育成に向けた取り組みと課題一
- 再生可能エネルギーの普及と地域振興策  
～いま私たちにできることは～

- 新型コロナウイルスが企業に与えた影響について
- 女性の就業率と待機児童の関係に関する実証分析
- AIは人間の労働を奪うのかー労働市場の再編と人間の役割ー
- 日本の家計金融資産が貯蓄重視から脱却するには

## 株式会社三菱UFJ銀行 法人営業 勤務

変化を恐れず、  
支店事務のDX化に挑む

法人営業を支える事務業務を担当しています。企業の財務内容にもとづく格付作業や融資に関する各種手続き、支店の取りまとめなど、業務の内容は多岐にわたります。最近、AIを活用した支店事務のDX化にも取り組んでいます。営業担当や関係部署と連携する日々において、特に役立っているのは、ゼミ活動とおして培った課題解決力と協働力です。途上国の現状を知るために現地調査を行い、その成果を発表するなかで、チームワークの重要性を実感しました。また、コロナ禍の長期留学で鍛えられた、自ら考え行動する姿勢は、変化の多い環境でも前向きに挑戦する原動力になっています。学びを止めず、新しい仕組みづくりにもチャレンジしたいです。

山田 優菜さん

2022年卒業  
(兵庫県立鳴尾高等学校 出身)

# Life after G



金融の専門性とデジタルの知識を掛け合わせ、組織全体の生産性向上や価値創出に貢献できる人材をめざし、これからも成長し続けます。

### My Background



#### 大学1年生

大学独自の短期留学プログラムでアメリカに渡航。炊き出しや現地学生との交流で語学力が向上し、多文化理解への意識も高まりました。



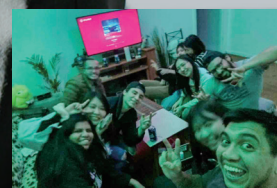
#### 大学2年生

ゼミ研究の一環でラオスの現地調査に参加。途上国の実態を把握し、当事者視点で社会課題を考える力を養いました。



#### 大学3年生

日経BP主催の研究発表会で、ラオスでの調査成果を発表。上位10%に選出され、主体性とチームワークの大切さを実感しました。



#### 大学4年生

コロナ禍のオーストラリア留学で、逆境に負けない精神力を培いました。帰国1週間前に仲間と対面したときの感動は忘れられません。

萩原 快成さん

2022年卒業  
(滋賀県立水口高等学校 出身)

住友ファーマ株式会社

営業本部 / MR 勤務

新たな領域に挑戦し

医療の未来に貢献する

製薬会社のMRとして医療機関を訪問し、医師や薬剤師の方々に自社製品の学術的な情報提供を行っています。単に製品を紹介するだけでなく、最新のエビデンスや治療ガイドラインを踏まえ、患者さまにとってより良い治療選択ができるよう支援することが私の使命です。現在の業務に直結しているのは、データ分析や統計の基礎知識です。専門用語や統計の手法が多く登場する臨床試験データも、スムーズに理解できました。論理的思考力や学ぶ姿勢も、日々の情報収集や医師との対話に役立っています。今後はITやデータ活用といった新たな領域にも挑戦し、医療現場へより大きな価値を届けられるよう、専門性を高めていきたいと考えています。

# raduation



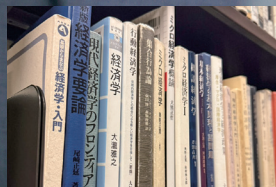
医療従事者の方々から信頼いただけるよう、常に最新の学術情報をアップデート。新たな価値を創造し、医療現場に貢献できるよう努めています。

## My Background



### 大学1年生

マクロ経済学とミクロ経済学の基礎を学修。市場の成り立ちを論理的に理解できるようになり、経済学への興味が深まりました。



### 大学2年生

心理学と経済学が融合した「行動経済学」がおもしろく、理論と実践を往還するなかで理解が深まり、学問の奥深さを実感しました。



### 大学3年生

ゼミ活動で集中的にデータ分析を学修。データ解釈や課題発見のスキルが上がり「データから仮説を立てる力」が身につきました。



### 大学4年生

卒業論文に欠かせない膨大なデータを収集・分析。根拠のある結論を導き出す過程を通じて、データ分析のおもしろさを再認識しました。



## キャリアサポート体制

### 初年次からのキャリア教育と就職支援

経済学部では将来の進路選択を充実させるためにも早期からのキャリアサポートを展開しています。1年生の第1学期に開講する「入門演習」では、講義のなかでキャリアセンターから、大学4年間のキャリア形成についてレクチャーを受け、自身のキャリアプランを立てます。2年生から始まる「演習」でも、就職活動のすすめ方や対策などについて学ぶ機会を設けています。

また、各科目のなかでも、ワークショップやフィールドワーク形式で自分自身を見直すことや社会人として行動する視点をもてるように取り組める機会をたくさん設けています。経済学部では早期から継続的に、社会人として多様な分野・業界で活躍することができる人材育成に取り組んでいます。

### キャリアを拓く経済学

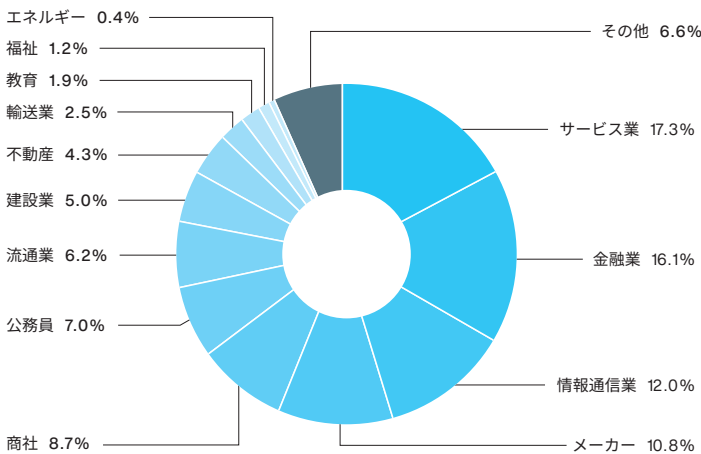
経済学部では、地域社会や企業と連携した実践的な授業をとおして、将来のキャリアを描く力を育てます。教室だけにとどまらない学びによって社会の仕組みを体感し、自分の強みや関心を発見していきます。行政機関との協働授業では、人口減少や地域産業の活性化などの課題をテーマに、データ分析や政策提案に挑戦します。「地方自治論」では、気候変動や災害対策、子育て支援、交通政策、産業振興など、京都府が直面する課題について、実務担当者とのワークショップ形式で議論し、実践的な思考力を磨きます。さらに、企業やNPOと連携する「京都企業イノベーション論」「国際NGO論」、金融機関と協働する金融リテラシー科目など、多様な社会連携科目を展開。実務家との対話やプロジェクト型学修を通じて、知識を“つかえる力”へと高め、卒業後の進路に繋がる経験を積み重ねていきます。



### 就職状況（2025年3月卒業生）

サービス業や金融業、情報通信業、メーカーへの就職が好調。

企業規模としても大手企業から高いシェアをもつ中堅・中小企業などさまざまで、公務員として行政サービスの向上に携わる人もいます。



#### 【主な就職先】

##### 【建設業】

- 積水ハウス株式会社
- 大和ハウス工業株式会社
- パナソニックホームズ株式会社

##### 【メーカー】

- 富士フィルムビジネスイノベーション株式会社
- 日本ハム株式会社
- 山崎製パン株式会社

##### 【輸送業】

- スカイマーク株式会社
- ANA 大阪空港株式会社
- 東海旅客鉄道株式会社 (JR東海)
- 西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本)

##### 【商社】

- 株式会社ゼンショーホールディングス
- 株式会社大塚商会

##### 【流通業】

- 株式会社ローソン
- 株式会社ファーストリテイリング

##### 【金融業】

- 株式会社関西みらい銀行
- 株式会社京都銀行

- 株式会社ゆうちょ銀行
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
- 楽天証券株式会社

- 京都中央信用金庫
- 住友生命保険相互会社
- 日本生命保険相互会社
- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

##### 【情報通信業】

- 株式会社NTTデータ関西
- 富士ソフト株式会社
- 株式会社マイナビ

##### 【サービス業】

- 株式会社ニトリホールディングス

##### 【福祉】

- 日本年金機構

##### 【公務員】

- 厚生労働省
- 農林水産省
- 国税庁
- 京都府庁
- 滋賀県庁
- 京都市役所
- 東京都特別区

#### 【めざす職業・進路】

- 企業（企画・営業職・販売職・海外駐在員 など）
- 航空・ホテル・旅行業
- 研究職
- 教員（中学校・高等学校）
- 通訳・翻訳
- 公務員（国際・国家・地方）
- NPO/NGO

#### 【取得可能な免許・資格】

- 中学校教諭一種免許状（社会）
- 高等学校教諭一種免許状（公民）
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 本願寺派教師資格（受験資格）



## 京セラ株式会社 内定

### 数値にもとづく提案力を数学系の授業で体得

日本の経済成長に必要な政策を考察するため経済政策を学び、さらに数値にもとづく提案力を養うべく数学系の授業を中心に履修しました。ゼミのグループディスカッションやプレゼンテーションで培った論理的伝達力により、選考では結論から簡潔に話すことを徹底しました。多彩な製品技術を有する京セラで、人々の生活の豊かさを支える夢を叶えます。

上野 美夏さん

4年生

(大阪府立山田高等学校 出身)

## 広島県庁 内定

### 正課授業と公務員講座の両軸で効率よく学修

ミクロ・マクロ経済学や財政学を体系的に修め、ゼミでは少子高齢化による労働力不足の解決策を研究しました。公務員講座は、正課授業と並行して試験勉強に励むことのできる手厚い制度でした。学修計画を毎朝立てる徹底した時間管理で、長期間の選考を乗り越え内定をいただきました。入庁後は、県民が安心して過ごせる街づくりに尽力します。

茶山 悠人さん

4年生

(広島県 広島国際学院高等学校 出身)



## 日本銀行 内定

### 協調性と胆力で日本の経済を支える存在に

ゼミでは、経済学者シュンペーターのイノベーション論を研究し、自身の塾講師としての経験も踏まえて私立高校無償化政策を分析しました。また、ピア・サポーター活動や他大学との合同ゼミ発表を通じて、協調性と胆力を培いました。今後はこれらの力を活かして、日本銀行で経済の安定を支える縁の下の力持ちとして貢献します。

片岡 真歩さん

4年生

(大阪市立高等学校\*出身)

※現 大阪府立いちっつ高等学校

## 国土交通省 近畿運輸局 内定

### ゼミで養ったバイタリティーで内定を獲得

ゼミで島嶼経済学を専攻し、沖縄での実地研修を通じてオーバーツーリズム等の課題や持続可能な観光を研究しました。授業やゼミで培った「あきらめずに挑戦し続けるバイタリティー」により、1年以上にわたる公務員試験対策を完遂できました。選考では何度も足を運ぶなかで職員の方と信頼関係を築き、熱意を伝えて内定を獲得しました。今後は社会の基盤を守ることで、人々の暮らしをより良くする職員をめざします。

村上 藤正さん

4年生

(滋賀県立八幡高等学校 出身)



## 京都深草キャンパス\*

京都市伏見区深草塚本町67  
Tel 075-645-7894 keizai@ad.ryukoku.ac.jp

大阪、奈良、兵庫から好アクセス

JR「大阪」駅 → 約42分

京阪「京橋」駅 → 約41分

近鉄「奈良」駅 → 約43分

JR「三ノ宮」駅 → 約63分

※2027年4月、「深草キャンパス」より名称変更。

## 龍谷大学のブランドストーリー

世界は驚くべきスピードでその姿を変え、  
将来の予測が難しい時代となっています。  
いま必要なことは、「学び」を深めること。  
「つながり」に目覚めること。  
龍谷大学は「まごころある市民」を育てていきます。

自らを見つめ直し、他者への思いやりを発動する。  
自分だけでなく他の誰かの安らぎのために行動する。  
それが、私たちが大切にしている  
「自省利他」であり、「まごころ」です。  
その心があれば、激しい変化の中でも本質を見極め、  
変革への一歩を踏み出すことができるはず。

探究心が沸き上がる喜びを原動力に、  
より良い社会を構築するために。  
新しい価値を創造するために。

私たちは、大学を「心」と「知」と「行動」の拠点として、  
地球規模で広がる課題に立ち向かいます。  
1639年の創立以来、貫いてきた進取の精神、  
そして日々積み上げる学びをもとに、様々な人と手を携えながら、  
誠実に地域や社会の発展に力を尽くしていきます。

豊かな多様性の中で、心と心がつながる。人と人が支え合う。  
その先に、社会の新しい可能性が生まれていく。  
龍谷大学が動く。未来が輝く。

You, Unlimited

## 龍谷大学 経済学部

あらゆる「壁」や「違い」を乗り越えるために、「まごころ」を持ち、  
「人間・社会・自然」について深く考える人を育む。  
それが、龍谷大学の教育のあり方です。

自分自身を省み、人の痛みに感応して、  
他者を受け入れ理解する力を持つ。  
人類が直面するリアルな課題と真摯に向き合う。  
そして様々な学びを通じて本質を見極める目を養い、  
自らの可能性を広げていきます。



<https://www.econ.ryukoku.ac.jp>

※掲載の学年、所属は取材時のものです。

2026年5月発行

